

# 体育男子

単位数	3単位	対象学年	2学年(男子)	対象コース・クラス	全クラス
使用教科書	スポーツルール 大修館書店	副教材等	現代高等保健体育, ノート 大修館書店		

## 1. 学習の到達目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康、安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図る。

## 2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

- ・運動の楽しさや喜びを深く味わい自ら進んで運動できるようにするために、体を動かすことの楽しさや必要性、各種の運動の特性などについて解説する。
- ・発達の段階や運動の特性や魅力に応じて、合理的に運動を実践する。
- ・技能を高めたり、作戦を立てたりするなどの過程を通して、仲間と適切な関係を築き、課題の解決を目指して取り組む。
- ・健康・安全を確保し、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、生涯を通じて継続的な運動ができるように、身体活動の意義や、運動の特性、各種目のルール及び審判法などに触れるよう配慮する。

## 3. 学習上のメッセージ

- ①実技教科である体育はまず、安全に実技が行える服装、心構え、身体の準備が大切です。そのため、各時間必ず行われる準備運動、補強運動には遅れることなく参加し、その日に行う運動についての諸注意を必ず聞いてください。
- ②体育は小学校の頃から得意な人、苦手な人が大きく分かれる教科です。得意な人は、より高度な技術と理論を身につけるように、苦手な人は少しでも努力し、今まで出来なかった実技が少しでもできるようになるよう取り組んで下さい。
- ③集団行動は集団生活で必要かつ大切なものです。体育の授業だけでなく、学校生活全般でも継続して実践しましょう。球技はチーム・ペアーでの役割・責任を果たすことと協力することを学びます。陸上競技・縄跳びは、自己の能力に応じて運動技能記録を高め、新たな技能の習得を目指します。持久走(マラソン)は、自己の持久力を高めるとともに、克服型スポーツとしてやり遂げる達成感を味わったり、自分自身に自信をつけたりと、積極的に授業に参加しましょう。

## 4. 評価の観点・方法 (年間の評定)

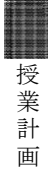
評価は次の3つの観点から行う。

知識・技能	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。

- ①各種目で、実技試験を行う。
  - ②授業の遅刻・忘れ物・出欠席の状況。
  - ③授業への積極的な参加。
  - ④体育理論の小テスト実施。
  - ⑤広島桜が丘高校の生徒としての規則に則った服装で取り組むこと。
- 1年間の評点は、年間を通じて、総合的に評価する。

5. 学習内容と評価について

単元名	使用教科書項目	指導内容と評価のポイント
体づくり運動	ラジオ体操 桜が丘体操	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団行動のおもな行動様式を身につけ、機敏、的確に行動する。</li> <li>・仲間との活動を通して、交流を深める。</li> <li>・多彩で手軽な運動や律動的な運動を通じて、体力を高める。</li> </ul>
集団行動	集団行動	
新体力テスト	新体力テスト	
球技	ネット型 ベースボール型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種目の特性を理解し、個人やチームの能力を把握する。</li> <li>・ゲームなどを通して、その種目の楽しさを味わいながら、個人やチームの課題を設定し、その解決に向けての練習を工夫する。</li> </ul>
運動理論	スポーツの技術と戦術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術と技能の意味の違いや技術の発揮のしかた、クローズドスキルとオープンスキルの違い戦術、作戦、戦略について説明できるようになる。</li> </ul>
	技能の上達過程と練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動のスポーツの技能の上達過程には、試行錯誤の階段、意図的な調整の階段及び自動化の段階があること、これらの上達過程の段階や技能の特徴及び目的に即した効果的な練習方法があることについて学習する。</li> </ul>
1 学期期末試験		
柔道	柔道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固めの形のポイントを押さえて正しく反復練習ができているか。</li> <li>・色々な体勢からそのときに合った防御や攻撃の姿勢を取ることができるか。</li> <li>・相手の動きの変化に応じやすい姿勢と維持する。</li> </ul>
球技	ゴール型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種目の特性を理解し、個人やチームの能力を把握する。</li> <li>・ゲームなどを通して、その種目の楽しさを味わいながら、個人やチームの課題を設定し、その解決に向けての練習を工夫する。</li> </ul>
運動理論	効果的な動きのメカニズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動、スポーツでとくに重要な体力要素に着目して、動きを開始させる筋力、動きを持続する持久力動きを調整する基礎的メカニズムを学ぶ。</li> </ul>
	技能と体力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動・スポーツにおける技能と体力の関係を理解させる。ふだん何気なく使っている言葉の正しい意味を学び、技能や体力を高める際に守るべき原理、原則や気を付けるべき点を理解させる。</li> </ul>
2 学期期末試験		
体づくり運動	縄跳び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間との活動を通して、交流を深める。</li> <li>・多彩で手軽な運動や律動的な運動を通じ体力を高める。</li> </ul>
陸上競技	中距離走	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中距離走の特性や、魅力を味わう。</li> <li>・生徒の技能・体力の程度や気候等の状況に応じ、弾力的に行い自己に適したペースを設定する。</li> </ul>
運動理論	体力トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニングや練習の原理・原則にもとづいて体力の各要素を改善するには、具体的にどのようなトレーニングや練習をするか学ぶ。</li> </ul>
	運動やスポーツでの安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツによるけがの発生件数とおもな発生原因、気象条件や自然環境に起因する事故について学ぶ。</li> </ul>
学年末試験		

内 容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中
学習の手引き シラバス説明															
実技	ラジオ体操 広島桜が丘体操														
	集団行動														
	新体力テスト														
	ネット型														
運動理論	スポーツの技術と戦術														
実技	ベースボール型														
運動理論	技能の上達過程と練習														
1 学期期末試験															
運動理論	効果的な動きのメカニズム														
実技	ネット型 ゴール型 ベースボール型														
	柔道														
運動理論	固めの形 寝技の防御 寝技の攻撃														
	体力トレーニング														
運動理論	運動やスポーツでの安全の確保														
2 学期期末試験															
実技	中距離・縄跳び														
運動理論	体力トレーニング 運動やスポーツでの安全確保														
学年末試験															
凡例	 授業計画 行事等	期 末 試 験 期 末 試 験 学 年 末 試 験													